

# 東村・環境に配慮した営農対策



本村の基幹産業は、農林水産業であり、その中でもパイン生産は比較的傾斜地形で、傾斜による赤土流出の影響は大きく、農地と海域との距離が近い事も有り主要産業である農業・農地に起因する赤土等土砂流出は多いと考えられる。近年、本村の観光産業も伸びており、赤土流出は海域においてはサンゴの白化現象や海洋生物の生息域にも影響を与え、ブルーツーリズム・漁業活動への影響も考えられます。**東村赤土等流出防止対策地域協議会**は赤土等流出防止対策を支援する団体及び農家と地域協議会を繋ぐ環境コーディネーターを育成し、赤土等流出防止効果の高いマルチ事業やグリーンベルトの増殖・植え付け体制の構築さらに圃場更新時に赤土流出量の多いパイン畑及び他作物耕地において重点的に赤土流出防止対策を行い、地域と連帯し持続可能な赤土流出防止体制の構築と営農的対策の促進を図ります。

東村赤土等流出防止対策地域協議会

農業環境コーディネーター：小林 大作

〒905-1292

沖縄県国頭郡東村字平良804番地

東村役場建設環境課内

TEL：0980-43-2205 FAX：0980-43-2184

## 赤土等流出のしくみ



内閣府 政策統括官（沖縄政策担当）HPより抜粋

赤土等の流出は、雨が降り、土壌が浸食されることによって始まります。

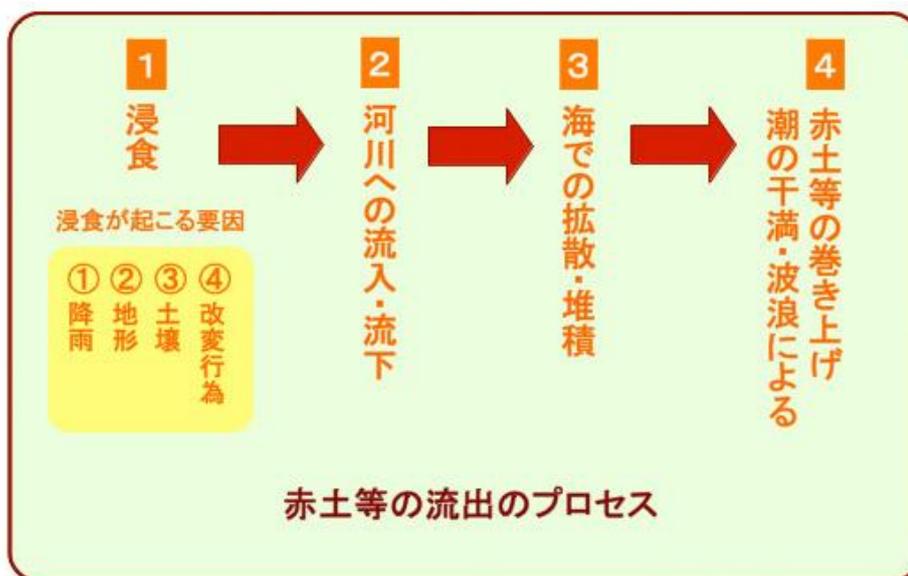
侵食された赤土等は、雨水とともに河川に流れ込み、さらに、河川を流下して海に流入して拡散します。

海を濁らせた赤土等は、時間がたつと海底に沈み、堆積しますが、潮の干満や波浪によって巻き上げられ、ふたたび海を濁らせてしまいます。

赤土等流出の要因はいくつかありますが、沖縄の気候や地形、土壌の性質などがあげられます。

これらの要因に農業や民間・公共の開発事業による土地の改変行為など、

人の行為による要因が加わることによって赤土等が流出します。



2009/3 沖縄県文化環境部 環境保全課 沖縄県の赤土流出について 赤土等ガイドブックより抜粋

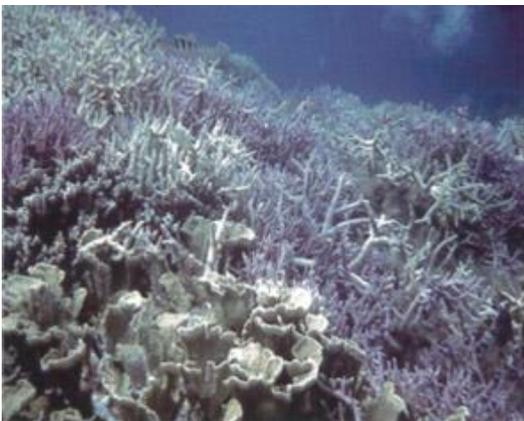
### 赤土等による影響

沖縄県は多くの島々からなりその周囲を取り巻く浅い海には、美しいさんご礁が発達し、豊かなさんご礁生態系が成り立っています。また、さんご礁だけでなく、干潟や藻場が広がり、海岸には砂浜やマングローブが見られるなど、豊かな自然環境が広がっています。

これらの環境は、優れた景勝地や自然との触れ合いの場にもなっています。

さんご礁に流出した赤土等が堆積するとさんごが光合成ができにくくなり、生きているさんごが減少、小動物が隠れ棲む枝状のミドリイシ類などの代表的なさんご等がなくなると、魚たちも姿を消してしまいます。また、海域への赤土等の流入によって美しい海や、砂浜などが赤く染まり景観が悪化して、ダイビングなどのマリンスポーツを含めた観光レクリエーションへの影響が見られます。漁業・水産業では、濁りによるもずくの収穫の減少や定置網への赤土等の付着などの被害がみられ、水道水源地では、濁りによる水質の悪化が懸念されます。

ミドリイシ類の繁茂する海域



さんご礁に生息する魚たち



畑などから出た赤土等の流出で荒廃した海



赤土等で汚れた海草



## 赤土等流出防止対策

### 農地における防止対策の事例

農地では、土地を耕す時期や農作物の収穫後に土壌がむき出しになるため、そこから赤土等の流出が発生します。そのため、継続的な防止対策の実施が必要になります。

濁水の発生の抑制-濁水が発生する状況をできるだけ少なくする対策



マルチング



畑の裸地部に刈ったキビの葉やマルチシートを使用し裸地部を覆い赤土等の流出を防止する。



グリーンベルト

裸地や畑の周辺などに草木等の植物を植栽することで水の流れを弱め、赤土等の流出を防止する。



緑肥（畑面植生）

農作物を植えない時期の畑地（休耕地）にクロタラリアやひまわり等の植物を植えて畑の裸地化を防ぐ。



畦畔

畑地と畑地の間にサトウキビの葉などをまとめたものを並べて置き、赤土等の流出を防止する。

これらの対策に、東村赤土等流出防止対策地域協議会では資材・人材を提供し、農家の方や地域の協力者と連携し営農的赤土流出防止対策を促進していきます。

thanks（このパンフレットはNPO法人おきなわグリーンネットワークの協力により作成しました。）